

## 令和3年度第3回指定管理者選定委員会会議録

●開催日時 令和3年10月20日(水) 午後1時30分開会 午後1時37分開会

●開催場所 別館3階特別会議室

### ●会議録

○事務局 配布資料の確認。レジュメが1部、1次審査の評価集計表が1枚。

○委員長 本年度の選定委員会では、「なかまチャレンジショップ」の令和4年度からの指定管理者選定を進めている。施設所管課である産業振興課から「指定管理者の応募状況」と「1次審査の集計結果」をあわせて報告していただきたい。

○産業振興課 中間市チャレンジショップの指定管理者応募状況は、8月5日から9月3日までの約1ヶ月間、広報なかま及び中間市ホームページに公募記事を掲載し公募を行った。事業に関する問い合わせが数件あったが、応募事業者は現在の指定管理者である「一般財団法人中間ゼネラル」1者のみであった。この法人は、中間市を中心とする地域住民の安全と健康、そしてあらゆる世代に対し、社会福祉・教育・文化・観光・体育・その他の公益の増進に寄与し、地域社会の発展と魅力的なまちづくりに貢献することを目的として、平成29年に設立された法人である。チャレンジショップはオープンした平成30年度から1期目3年間、2期目1年間の計4年間にわたり、指定管理者としての管理運営の実績があり、十分なノウハウの蓄積により、現在も堅実な運営がなされている。

続いて、第1次審査の集計結果だが、審査は8名の委員が書類を基に審査項目について厳正な審査を行った。管理運営方針・運営体制・事業計画・収支計画など10項目について審査をした結果、400点満点中302点を獲得し、平均では50点満点中37.8点、率にして75.6%と非常に高い評価を得ており、平均得点の各審査項目でも基準点3点を下回る項目はなかった。

当該事業者が公共施設の役割を理解し、自主事業のほかに隣接施設や他団体と連携して事業の拡充を実施し、新型コロナウイルス感染拡大の影響における店舗の来客数及びフリースペースの利用者数の減少における対応をはかっていること、また、出店者のバックアップ体制が整えられ、卒業生5店舗についても、すべて市内においての開業へ繋げることができ、街の賑わい創出にも十分に貢献していると思われる。

以上により「一般財団法人中間ゼネラル」を令和4年度から令和8年度の5年間、指定管理候補者に選定したいと考えている。

○委員長 今回の公募においても残念ながら1社のみの応募であったが、評価点についてはすべて基準点を超えており、全体で75.6%という高い評価を得ているということである。ただ今の報告に対し、何か質問や意見があれば。

○委員 (特になし)

○委員長 「今後の対応」についてだが、前回の選定委員会の際に「現管理者である中間ゼネラル1者しか応募がなかった場合には、これまでの実績等もふまえ、プレゼンによる2次審査は省略し、当該事業者を指定管理者として選定する」ということで皆さんから了解をいただいていたが、そのように進めてよいか。

○委員 異議なし

○委員長 異議がないようなのでそのようにさせていただきます。本日、指定管理者の候補者とし

て「中間ゼネラル」を選定することに了解をいただいたので、これまで決定してきた内容、指定期間が令和4年度から令和8年度までの5年間、指定管理料は年600万円ということで12月議会に議案として上程する。

○委員 今回応募が1者しかなかったということでこのような結果になっているが、今後またこういう選定があるときに、できるだけ競争が働くようなかたち、1者だけではなくほかの業者が入れるようなかたちを工夫して、検討していただきたい。